



ただひろ しまぐち忠弘



未来に誇れる愛知をめざして！

愛知県議会議員 嶋口 忠弘

常任委員会：警察委員会 委員／特別委員会：産業イノベーション推進特別委員会 委員
全トヨタ労連顧問／アイシン労働組合顧問・専門部員

迎春



新年あけましておめでとうございます

皆様におかれましては、新たな年を迎えられましたこと、お慶び申し上げます。
愛知県は、1872年11月27日に、名古屋県から改称した当時の愛知県と額田県が合併し、現在の愛知県が誕生してから、昨年11月27日に150周年を迎えました。県政150周年の記念事業のひとつとして、愛・地球博公園に11月1日にジブリパークを開園し、本年も愛知県新体育館、愛知県基幹的広域防災拠点等の記念事業を推進し、愛知県の更なる発展に向けて、引き続き、県民の皆様と力を合わせ、将来世代へしっかりとつなげてまいります。



ジブリの大倉庫にて

2022年11月1日、愛・地球博記念公園にジブリパーク第1期整備エリアがオープンします。まずは「ジブリの大倉庫」「青春の丘」と「どんどこ森」の3エリア。自然いっぱいの公園内にちりばめられたスタジオジブリの世界で、大さんぼしませんか？

パークのメインエリア

ジブリの大倉庫

ジブリの秘密がいっぱいつまった大倉庫。建物の中に生まれたふしぎな町には、作品展示や子どもたちが遊べる部屋、映像展示室、カフェやショップなど盛りだくさん。



愛・地球博記念公園と ジブリパーク第1期マップ



青春の丘

丘の上から公園を見下ろすのは「耳をすませば」の「地球屋」です。あのベランダからは園内を一望できます。

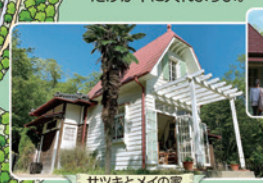


地球屋



どんどこ森

「サツキとメイの家」で「となりのトトロ」の世界へ。裏山の頂上には「どんどこ堂」が待っています。子どもたちだけが中に入れますよ。



サツキとメイの家



どんどこ堂

第2期

もののけの里
魔女の谷
は、待ってね！

あるこうあるこうジブリパークで大さんぼ

代表質問 (抜粋)

12月定例議会が12月1日～12月20日までの会期で開催され、自由民主党・新政あいちの2会派から代表質問を行い、新政あいちからは政策調査会長の黒田太郎議員(千種区2期)が登壇し、県政に関する諸課題について県の考えを質した。

主な質問① 新型コロナウイルス感染症に対応する医療提供体制について

Q1. 新型コロナウイルス感染症の再拡大や季節性インフルエンザの同時流行など、第7波を上回る感染拡大が生じると懸念されているが、県としては、医療機関のひっ迫を防ぐため、どのように取り組んでいかれるのか？

A 知事 答弁

この冬は季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されることから、これまでを上回る発熱患者等の増加に備えるため、特に診療・検査医療機関について、箇所数の増加を図るとともに、診療時間の延長やかかりつけ患者以外にも対応を広げていただいております。更に、救急外来や休日診療所に発熱患者等が集中せず、安心して受診していただけるよう、臨時に開設する医療機関及び薬局に対して、独自の財政支援を行うための補正予算を本議会に提案させていただいたところであります。

今回で3回目の冬を迎えることとなりますが、引き続き感染状況を見据え、医療機関や県医師会等関係団体の方々としっかり連携を図りながら適時的確に対応し、県民の皆様様の生命と健康を全力で守ってまいります。



黒田政策調査会長

主な質問② 持続的な本県産業の振興について～自動車産業に対する支援について～

Q2. 自動車産業が激動の時代を迎える中、自動車メーカーやサプライヤーに対して総合的、多面的な支援が必要と考えますが、今後どのように取り組んでいかれるのか？

A 知事 答弁

電動化の加速が中小自動車サプライヤーに大きな影響を及ぼすものと認識しております。そこで、自動車サプライヤーの新製品・新事業への進出をサポートする、専門家によるハンズオン支援プログラムを実施。併せて、電動化分野に進出するためのきっかけの場として、電動車等の構成部品等を展示・解説する「BEV関連部品展示解説イベント」を開催しております。

また、本県自動車産業がカーボンニュートラルやCASEといった潮流に取り残されることなく、更に新たな価値を創出していくことをサポートしていくための環境整備として、水素社会の到来をにらんだ水素ステーションの整備を、全国一の規模で推進するとともに、高齢者等の移動手段の確保など社会課題の解決にも資する自動運転の実証実験等を実施してまいりました。

加えて、自動車産業の国際競争力強化や国内市場活性化の観点から、自動車諸税におけるユーザー負担の一段の軽減と簡素化などの抜本的な見直しを行うよう、9県知事・2政令市長連名の緊急声明を愛知県がとりまとめ、連名自治体や自動車関係団体とともに、政府及び与党に対し、先月要請を行ったところであります。

主な質問③ カーボンニュートラル社会の実現について～中小企業の地球温暖化対策について～

Q3. 地球温暖化対策を着実に進め、一刻も早くカーボンニュートラルを実現するために、本県産業の屋台骨を支える中小企業への支援について、どのように考えておられるのか？



大村知事

A 知事 答弁

本県内の中小企業の温室効果ガス排出量は、県全体の約4分の1を占めており、カーボンニュートラル社会の実現のためには、中小企業による排出削減が必要不可欠となっております。本県では、2014年度から専門家が無料で、企業訪問等により省エネ対策や温暖化対策のアドバイスをを行う「あいち省エネ相談」を実施しているほか、今年度からカーボンニュートラルを実現するための設備導入に必要な資金を低利で融資する制度を設置。更に、2022年の8月以降、県内事業者に対し、再生可能エネルギー設備の導入やエネルギー消費効率の高い設備への更新を支援する補助制度を設け、多くの中小企業に利用いただいております。こうした中で、現在、グローバル企業を中心に、脱炭素化を企業経営に取り込む動きが世界的に進展しており、本県内においても、サプライチェーン全体でカーボンニュートラルをめざす大企業から、CO₂排出量の削減を求められるサプライヤーもあり、そうした要請に応えることも中小企業にとって大きな課題となっております。

一方、中小企業の中には、脱炭素経営に取り組むことは、エネルギーコストの削減だけでなく、企業の社会的評価の向上や資金調達面での優位性の確保、新たなビジネスチャンスの可能性にもつながるものと考えられています。県としては、脱炭素経営のメリットや成功事例の紹介とともに、排出量の算定や削減目標の設定など中小企業の脱炭素化に必要な支援を行い、カーボンニュートラル社会の実現につなげてまいります。

「愛知県議会キッズページ」を開設しました！

愛知県議会では、小学校高学年程度の子どもの対象に、県議会に対する理解と関心を高めていただくため、新たに「愛知県議会キッズページ」を開設しました。

本県議会では、県議会をより一層県民に開かれたものとするため、ホームページを開設し、様々な情報を発信してきましたが、このたび、子ども向けに、キャラクターやイラストを交えて、県議会の仕組みや役割を、より分かりやすく紹介するとともに、ゲームやクイズを通じて、楽しみながら県議会を知ることができるキッズページを開設し、情報発信することとしました。

また、子どもが家庭で保護者と一緒に閲覧したり、小学校の総合学習や社会科学習等の教育現場で利用してもらうことにより、子どもたちの周囲にも、県議会を知っていただく機会を創出することも目的としています。

1. 主な内容

(1) トップページ

(2) 県議会を知ろう

(3) 県議会の流れ

(4) みんなのあいちストーリー

(5) ゲームコンテンツ

(6) クイズコンテンツ

キャラクターたちがキッズページの内容を紹介。

県議会の役割、仕事などを説明。

本会議と委員会、傍聴などを説明。

県の事業がどのように議会で決められ、進められるか、実例をもとに説明。

県議会に関するキーワードがカードになった神経衰弱。

県議会の制度などに関するクイズ。

2. URL

<https://gikai-kids.pref.aichi.jp>

また、愛知県議会ホームページ
(<https://www.pref.aichi.jp/gikai/>)

からもアクセスすることが可能です

是非ご覧ください!!



あいち県民の日条例 県政150周年を契機に、11月27日をあいち県民の日とします

【前文】

県政150周年を契機にあいち県民の日を創設し、県民一人一人が、愛知の歩みを振り返り、愛知の魅力を再発見し、次なる時代に向け新たな創造の基盤を積み重ねることで、県民がともに支え合い、希望と誇りを持つことができる愛知の実現をめざし、この条例を制定します。

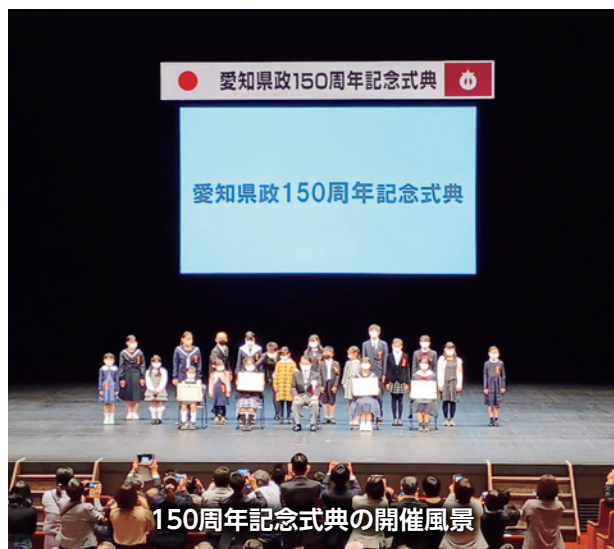
【概要】

- あいち県民の日は、11月27日とします。
- 11月21日～27日の期間(あいちウィーク)において、あいち県民の日に関する啓発及び事業を実施することとします。
- あいち県民の日に関する事業、取り組み等の実施について、事業者、市町村等に協力を求めることとします。
- あいちウィークにおける公の施設の利用に係る使用料等で知事が定めるものについて、全部又は一部を免除することができることとします。

【施行日】 公布の日



昨年11月27日をもって、愛知県は県政150周年を迎えました。



150周年記念式典の開催風景

この150年の間、本県が我が国屈指の産業力を備えた大都市圏として成長できたのも、**先人たちのたゆめぬ努力の賜物**であり、現在はコロナ禍の非常に厳しい状況下ではありますが、そうした先人たちの英知を引き継ぐべく、**11月27日を「あいち県民の日」として定めるとともに、将来の発展を牽引する象徴的なプロジェクト(6事業)が「県政150周年記念事業」として選定**されておりますので、これらの事業を通じて愛知が更に住みよく働きやすい街となるよう努めてまいります。

1872年に名古屋県から改称した当時の愛知県と額田県が合併し、現在の**愛知県が誕生してから、昨年11月27日をもって150周年**という大きな節目を迎えましたが、前日となる26日には航空自衛隊の**ブルーインパルスによる記念展示飛行**が行われるとともに、当日には**記念式典も執り行われ、県を挙げて150周年を祝いました。**

県政150周年記念事業

1	ジブリパーク	愛知万博の理念を次世代へ継承するため、愛・地球博記念公園にジブリパーク(5エリア)を整備。その内の「ジブリの大倉庫」エリアをはじめ3エリアは昨年11月に開園。
2	国際芸術祭「あいち2022」	あいちトリエンナーレに替わる国内最大規模の国際芸術祭の一つであり、昨年7月30日～10月10日までの会期で開催。
3	ステーションAi	スタートアップの創出・育成や地域企業とのオープンイノベーションを促進する支援拠点「STATION Ai」を整備。2024年10月オープン予定で、ソフトバンクが代表を務める企業が整備・運営を担う。
4	愛知県新体育館	現在の体育館は老朽化とともに、機能等が国際水準を満たしていないため、2026年のアジア競技大会に利用できるよう整備。2025年夏オープン予定で、NTTドコモ等が参画する企業が整備・運営を担う。
5	愛知県基幹的広域防災拠点	大規模災害時に全国からの物資等を円滑に受け入れ、被災現場や地域の防災拠点に迅速かつ的確に供給する拠点を県営名古屋空港隣接地に整備。平常時機能については「公園」「消防学校」も計画。
6	愛知県畜産総合センター種鶏場	名古屋コーチンの種鶏を供給する全国唯一の増殖機関で、名古屋コーチン原種鶏を維持し、品質向上に努めながら生産者に優良なひなを供給できる体制を強化するため、安城市から小牧市に移転。

2023年 次期統一地方選挙(安城選挙区)候補予定者 稲垣たいぞうさんに決定!

この度、連合愛知、全トヨタ労連、アイシン労組は次期統一地方選挙(愛知県議会議員選挙)の候補予定者として「稲垣たいぞうさん」の推薦を決定しました。後継の「稲垣たいぞうさん」は、安城市議会議員として、自動車産業の代表・働く者の代表として活躍され「会社」「市議会」で培った経験を活かし、県議会にて「安心・安全で笑顔あふれる愛知・安城」をめざし実現してくれる候補者です。



プロフィール

- ・1969年 2月25日生まれ
- ・1991年 アイシン精機(株)
現 (株)アイシン 入社
- ・2004年 海外法人アイシン・オートモーティブ
キャストینگ
- ・2015年 アイシン精機(株)西尾ダイカスト工場
現 (株)アイシン
- ・2019年 安城市議会議員
初当選



発行 しまぐち忠弘事務所

〒446-0059 愛知県安城市三河安城南町一丁目11番地1
TEL 0566-77-2874 FAX 0566-77-2724
ホームページ <http://www.giin-aiwu.com/shimaguchi/>

